

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 625 号
 2013年7月1日
 発行
 アスカ工業株式会社
 〒444-0303
 西尾市中畑町卯新田上28

アルミ缶リサイクル率 2012年度 94.7%で新記録

アルミ缶リサイクル協会（理事長・ユニバーサル製缶株式会社社長白井啓一氏）は、6月18日2012年度の飲料用アルミニウム缶の消費量と再生利用状況の調査の結果を公表した。これによれば、

・アルミニウム缶消費量

301,234トン （191億2千万缶）

・アルミニウム缶再生利用量

285,401トン （180億2千万缶）

・アルミニウム缶リサイクル率

$$\frac{\text{再生利用量}(285,401\text{トン})}{\text{消費量}(301,234\text{トン})} = 94.7\%$$

・CAN TO CAN率

$$\frac{\text{缶材向け出荷量}}{\text{再生利用量}} = 66.7\%$$

CAN TO CAN率は回収された缶のうち、缶材用に再利用された割合で、缶材以外には鋳物用、ダイカスト用、製鋼脱酸材用として利用されている。

これらの数字を前年度と比較すると、

- アルミニウム缶消費量 +1.0%
- アルミニウム缶再利用量 +3.5%
- リサイクル率 +2.2%
- CAN TO CAN率 +2.2%

となっており、リサイクル率はこれまで最高だった2009年の93.4パーセントを上回って新記録を樹立した。

「安定的な90パーセント以上のリサイクル率の維持」という協会の目標を4年連続で達成し得た。

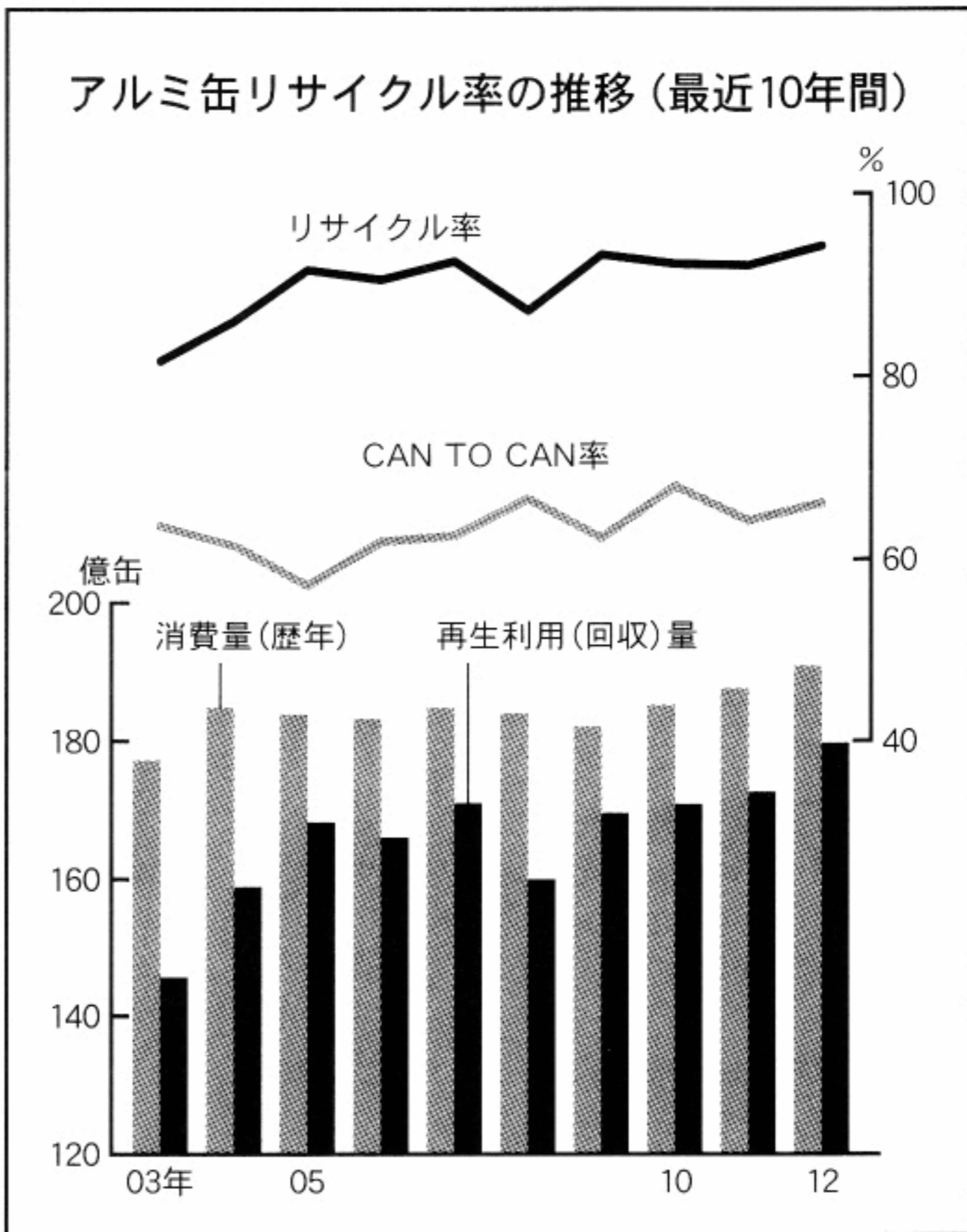
過去数年、東日本大震災や円高の進行が影響して産業界全体が低迷したのにもかかわらず、飲料用アルミニウム缶の需要に大きな変動はなく、又ここ数年のリサイクル率90パーセント台の高率を維持してきた。

アルミニウム缶の消費量は前年度から1パーセント増加し、これは約3億缶に相当する。内訳は

- 国産品 291,156トン（183億8千万缶）+0.2%
- 輸入品 11,200トン（8億缶）+26.9%

と共に増加した。

尚、昨年度後半から進行した急激な円安の影響で、UBC（使用済み飲料用アルミニウム缶）の輸出が韓国向けを中心に急増している。このため協会では輸出货量について推定値の公表を差し控えて成行きを注意深く見守っている。



7月30日

第1回 アルミセミナー開講

日本ダイカスト協会と日本アルミニウム合金協会

アルミニウム合金ダイカスト製品の市場は着実に拡大をしてきた。さらに一層の広がりを期待して、一般社団法人日本ダイカスト協会と一般社団法人日本アルミニウム合金協会は共同で第1回アルミセミナー『ダイカスト用アルミニウム合金委員会研究報告会 — ADC3の使いこなしによる市場開拓』の開催を発表した。

日本のダイカスト製品は今日大部分の製品はADC12が使用されており、ADC12以外の製品は極めて限定的である。

この度はADC3の利用についての用途拡大方策の研究は大そう興味がある。一般社団法人日本ダイカスト協会と一般社団法人日本アルミニウム合金協会との共催第1回セミナーとして盛会が大いに期待され、このほど下記により受講者の受付が始まった。

尚、このあと平成25年11月に名古屋市においても開講が予定されている。

・主催 一般社団法人日本ダイカスト協会
一般社団法人日本アルミニウム合金協会

- ・日時 平成25年7月30日（火曜日）
13:00～16:50
- ・場所 機械振興会館 B3研修1
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
（東京メトロ日比谷線神谷町8分・都営三田線御成門8分・JR浜松町15分）
- ・定員 70名
- ・聴講料 日本ダイカスト協会、日本アルミニウム合金協会 会員会社 3,000円
会員外 6,000円
- ・テキスト代 会員・会員外共 2,000円
- ・テキスト JIS合金ADC3の特性向上による用途拡大に関する調査研究 — H25発行
- ・申込先 一般社団法人日本アルミニウム合金協会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-24-3（杉木立ビル4F）
TEL 03-3866-2103
FAX 03-3866-2104
- ・申込〆切 7月19日（金曜日）

セミナープログラム

	司会	西 直美（日本ダイカスト協会）
(1) 13:00～13:20	開会の辞	北岡 山治（日本アルミニウム合金協会）
(2) 13:20～14:00	「ADC3系材料についてのこれまでの研究」	吉田 誠（早稲田大学）
(3) 14:00～14:30	「DC実機を用いた共同研究の結果」	大村 博（リョービ株式会社）
14:30～14:50	休 憩	
(4) 14:50～15:30	「ミクロ組織から見た材料の評価」	手塚 裕康（東京工業大学）
(5) 15:30～16:00	「銅金型によるダイカスト材料特性の予測」	大城 直人（大紀アルミニウム工業所）
(6) 16:00～16:20	「ADC3の使いこなし方」	北岡 山治（日本アルミニウム合金協会）
(7) 16:20～16:50	質疑応答	

アルミ缶回収優秀校表彰

平成25年度推薦基準

アルミ缶リサイクル協会は、毎年アルミ缶回収優秀校（小・中学校）を表彰している。平成25年度の表彰校について、このほどその推薦の要項がまとめられて発表された。これによると、

- ・推薦対象校 小学校・中学校
(回収活動実績年数2年以上)
- ・表彰基準 推薦校の中から、「活動年数、最近の活動実績と活動内容」に優れた50校を選定。うち

40校程度	新規表彰
10校程度	再度表彰

- ・推薦期日 平成25年8月16日（金曜日）
- ・お問い合わせ アルミ缶リサイクル協会
〒107-0052
東京都港区赤坂2-13-13
TEL 03-3582-3755

以上の要項を満たす学校は、アスカ工業株式会社（担当・柘植〈つげ〉、岡田）まで、お申し越しをいただければ、お申し出の学校とご相談の上、アルミ缶リサイクル協会へ推薦手続きを行うよう、お待ち申し上げている。

アルミ缶回収運動の推進にはチャンスである。

第50回 アスカ・セミナー

10月4日・5日

アスカ・セミナーは昭和39年の秋に第1回を開会して以来、秋の年中行事として好評のうちに回をかさね、本年は第50回の記念すべきセミナーを迎える。今回は、

- ・10月4日（金曜日） 5日（土曜日）
- ・会場 吉良観光ホテル（三河湾国定公園）

セミナーの講師は毎回各界のエキスパートが選ばれる。目下慎重に人選中で、近日決定、発表の予定である。併せて盛大な大懇親会とゴルフ・コンペが催されて、秋の夜長を心ゆくまで「きらりの里」を味わい楽しめるよう企画が進められている。

(写真下・吉良観光ホテル)



平成25年度全国安全週間スローガン

**高めよう
一人ひとりの安全意識
みんなの力でゼロ災害**

全国安全週間 7月1日～7月7日

全国安全週間は7月1日から7日まで実施されます。

この期間中、全国の企業・工場では、安全な職場づくりに向けたさまざまな行事や催しが行われます。

安全第一を徹底しましょう。





西尾祇園祭り

西尾市の伊文神社の夏祭りは、西尾祇園祭りとして400年の歴史がある。

太鼓や笛、神楽歌、神馬の背に立てた奉幣を先頭に伊文神社から市内を巡り、疫病や災厄を追い払う行事が起源で、今日では神輿の渡御が中心。本年は、

7月12日(金) わくわくドキドキ前夜祭

13日(土) 大名行列・御輿渡御

14日(日) 市民総おどり

と多彩な行事に、市内は興奮に包まれる。

社内情報

- ◎永年勤続賞 山内文治君(25年) 鈴木孝敏君(25年) 鈴木和久君(25年) 永田康彦君(20年) 亀山真奈美さん(20年) 都築勘弥君(15年) 朝岡充行君(10年)
- ◎皆勤賞 山内文治君 飯田ジェルソン君 永田康彦君 足立哲章君 亀山真奈美さん
- ◎準皆勤賞 鈴木孝敏君 鋤柄裕太君 戸松智洋君 児玉祐里さん 稲垣八重子さん
- ◎6月21日社員総会で表彰、皆さんお目出とう！

編集後記

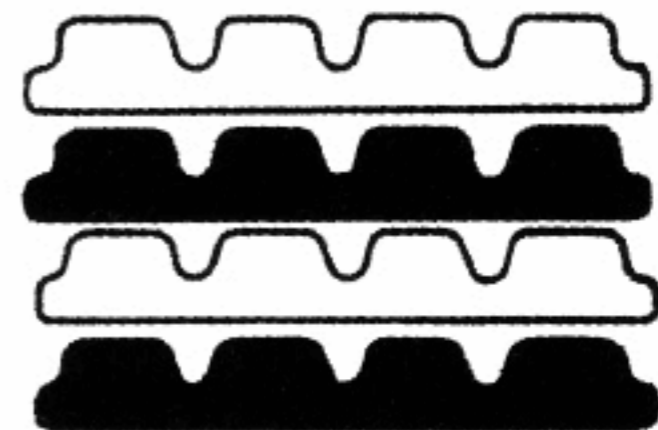
- 6月21日第101期株主総会が本社の会議室で行なわれ決算案、利益金処分案、役員改選案が承認されました。
- 天野卓社長は株主の後援に深謝すると共に、新工場の稼働の本格化を報告、今後一層の支援を株主に要請いたしました。
- 上記西尾祇園まつりは西尾市最大のイベントです。大名行列やみこし渡御は江戸時代以降の古い伝統行事で、是非一度ご覧下さい。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>